

上海日本人学校虹橋（ほんちやお）校

日本人学校だより 大黒晃嗣

# げんきがあれば なんでもできる

平成28年8月8日（月）

NO 4



## 元気ですかーっ！

鳥取県の皆様、元気ですかーっ！元気があれば何でもできる！

というわけで、今年度は昨年度からの持ち上がりで5年生（6クラス）を担当させていただいています。同学年には、なんと今年度鳥取県から派遣されてきた本池直樹先生もおられます。直接面識はありませんでしたが、同郷の方がおられるというのは本当に心強いです。異国の地で同郷の先生と一緒にの学年を組ませてもらっている奇跡に感謝です。



## 虹橋校の長期休業&中国の祝日について

さて、虹橋校は平成28年7月22日（金）に70日間の1学期が終わり、現在夏休み中です。今年度本校の夏休みは8月15日（月）までの24日間で、8月16日（火）にはもう2学期が始まります。日本の一般的な夏休みと比べると約2週間くらい短いのではないのでしょうか。子どもたちの多くは、この長期休業を利用して日本に一時帰国しています。長期休業明け、日本全国各地に帰省した時の土産話が教室内で飛び交うのも日本人学校ならではの光景です。

ちなみに、本校の平成28年度の長期休業は・・・

春休み	3月12日（土）～4月12日（火）	32日間
夏休み	7月23日（土）～8月15日（月）	24日間
冬休み	12月27日（火）～1月4日（水）	9日間

となっています。

夏休みと冬休みが短いのに対し、春休みは長いのが本校の特徴です。

また、日本にも祝日があるように、中国にも国で定められた祝日があります。中国の祝日の特徴は、土日を前倒しするなどして連休にするところですが、前倒ししたことによって、正規の土日が振替出勤日となることもあります。まとまった休みが取れるので、家族で触れ合える時間が増え、日本とはまた違ったよさを感じます。

以下に、平成28年の中国の祝日を紹介します。日本と似ているところもあり、おもしろいです。

### ★中国の祝日

#### 元旦 1月1日（～3日 3連休）

太陽暦の元旦です。週末とあわせて3連休になります。中国では、旧暦（農暦）に従って「春節」に新年を祝うので、「元旦」はごく普通の休日です。お正月の雰囲気はあまりありません。

#### ●春節 2月8日（7日～13日 7連休） ※6日（土）と14日（日）は振替出勤日

旧暦元旦のことを中国では「春節」と呼びます。日本で言うところの「旧正月」です。前日の7日から連休が始まります。中国ではもともと旧暦の1月1日を「元旦」と呼んでいましたが、中華民国建国時に太陽暦が公用暦に採用されたため、従来の元旦（旧暦元旦）は「春節」と改称されました。中国の方たちが最も大切にされている連休で、盛大にお祝いされます。



### ●清明節 4月4日(2日~4日 3連休)

「清明」とは、1年を24にわけ「二十四節気」のうち、「春分」の次の節気です。中国ではこの日にお墓参りをする風習があります。そのため、「清明節」は「掃墓節」とも呼ばれます。日本のお盆と似ています。

### ●労働節 5月1日(~3日 3連休)

5月1日はメーデーです。メーデーは、米国の労働組合連盟が行った統一ストライキや労働運動を起源とし、現在は多くの国で祝日とされています。国に貢献した人の表彰、スポーツ等のイベント、お祝いイベント等が行われます。「五一節」とも呼ばれています。

### ●端午節 6月9日(~11日 3連休) ※12日(日)は振替出勤日

端午節とは、春節・中秋節に並び、中華民族の三大伝統節句の一つです。ちまきを食べたり、ヨモギやショウブの葉を飾ったりする習慣があります。ドラゴンボートレースも有名です。固定休日になったのは2008年からで比較的新しい休日です。



### ●中秋節 9月15日(~17日 3連休) ※18日(日)は振替出勤日

端午節と同様、固定休日になったのは2008年からで比較的新しい休日です。月餅を食べたり、お世話になっている人に月餅を贈ったりする習慣があり、中秋節が近づくとデパートには高級月餅が並びます。



### ●国慶節 10月1日(~7日 7連休) ※8日(土)・9日(日)は振替出勤日

国慶節とは、中華人民共和国の建国記念日です。1949年10月1日、毛沢東は天安門に立ち、中華人民共和国の建国を宣言しました。例年、法定祝日3日間に週末連休2週分(4日間)を振替により繋げて7連休になります。

※●印がついているものは、旧暦に基づいて定まるため、太陽暦上の日付は毎年変わります。

※振替出勤日の日、中国の学校は平常通り登校日ですが、本校では、振替出勤日の日も休業日としています。(子どもたちも職員もお休みです。年間の総授業日数は約200日なので、日本の一般的な学校とほぼ変わりません。)

祝日が近づくと、中国人講師の先生方が、中国語の時間や集会などで祝日の意味を子どもたちに教えてくれます。祝日の意味を知ると、その国の歴史や文化を知ることにもつながるので、とても大切なことだと感じています。子どもたちにはこういう機会を通して、中国と日本との共通点や相違点を感じ、両国に対する理解を深めてほしいと思います。



端午節の飾り作り (中国語の時間にて)

ここ上海は7月下旬から非常に暑い日が続いており、連日40度近くまで気温が上がっていました。そんな中、リオオリンピックが開幕し、毎日テレビにくぎ付けになっている今日この頃です。日本の選手の活躍に一喜一憂するとともに、中国の選手の頑張りにも目がいくようになりました。両国の選手ともベストを尽くし、オリンピックを通して日中友好の輪が少しでも広がるといいなと思います。

がんばれ日本! 加油 (がんばれ) 中国!